

かりと情報を把握して攻めるべきは攻めていきたい。7・29豪雨災害の湛水状況を忘れたつもりはない。安心して生活していくためにも頻度の高い災害から解放されていくことだと思っている。災害の不安から一日も早く解放されていけるように取り組みたい。

道路の維持管理問題を再度訴える！

依然として市民要望の多いのが道路維持管理である。本年度、市道の大规模補修の予定箇所はどこか。

幹線道路を中心に計画をしている。例えば市道三竹柳沢線、また市道やまなみ線、これらの路線を予定しており、局部的には通学路も含まれている。生活道路を含めた舗装修繕も対応しており、随時柔軟に対応していく。



補修を待つ道路

自殺対策において基礎自治体として、あるいは基礎自治体にはできないことは

問 自殺者数の現状はどうか。基礎自治体あるいは自治会などできる取り組みは、生身の人間が直接に関わることである。ゲートキーパーの養成状況はどうか。



意外と作成されている資料

答 市の自殺者の数は平成23年度以前の5年間で見た場合、およそ30人前後で推移している。介護支援専門員や相談事業所職員など、比較的风险の高い方々と接する機会の多い方々を対象にゲートキーパー養成研修を実施し、昨年度は20人から受講していただいた。本年度は同様の研修会

「乗り入れ授業」先生方は兼務？

問 小中学校両方の免許所持者は少ないと思うが、小・中学校で教えられるのか。また、教員の辞令は小中学校兼務となるのか。

答 乗り入れ授業は、小中の教員がチームを組んで2人で行う。特別な辞令を必要としない取り組みをする。

南小学校、耐震は大丈夫？

問 跡地利用の進捗状況はどうなっているのか。また、南小学校は耐震基準をクリアしているのか。

答 南小は耐震診断をしていない。跡地利用の検討結果を踏まえ耐震診断を検討したい。跡地利用はインキュベーション機能を持ったものづくりの拠点、地域コミュニティの活用。一中は雨水対策で調整池を設置、体育館と武道場は避難所としても活用。今後、駐車場や公園等の整備を地元と協議していく。

外壁ポロポロ、壁朽ち...

問 公共施設の修繕、老朽化対策は指定管理者施設を含めどのように計画しているのか。

答 維持管理や今後の改修等のため台帳



塗装がはげたままの外壁



ポロポロになった浴室の壁

を整備した。予算編成時に修繕箇所を緊急度、財政状況等を見て実施。除雪については、指定管理者で対応困難な場合は市で行う。

の他に、民生委員さん等を対象に実施していく予定である。

悲惨なハナミズキ (ハナミズキ街道について)

問 悲惨な状態にあるが、その現状認識と抜本的対策はどうか。

答 枯れて撤去済み100本など、道路管理者の県に抜本的対策を要望する。



悲惨な状態のハナミズキ

いい湯らていゴツォ・ラーテの経営状況について

問 直近6カ月の利用でゴツォ・ラー

テは858人増えたが、レストランはくちは1万202人減っている。この分析はどうか。テレビCMはなぜ始めたのか。その投資効果はどうか。お役所的体質ではないか。入館者の落ち込みは真摯に受け止めるが経営悪化になっていない。CMの出身まで口出しはしない。今後もサービス向上に努める。

保育所の職員配置について

問 公立保育所の職員配置は基準通り配置されているか。民営化保育園の配置状況はどうか。

答 国の基準より手厚く配置。民間も同じ。

職員の労務対策について

問 大行列参加が各課への半ば動員であり、平日開催であれば有給休暇を半ば強制的に取得させているが労基法に抵触しないか。ボランティア休暇にすべきではないか。

答 職員互助会が主体的に活動。強制はない。労基法に抵触しない。

小中一貫教育、国はどう考える？

問 中央教育審議会初等中等教育分科会・作業部会の意見整理では、「今後より多くの小・中学校において小中連携、一貫教育が導入されること」が望まれる」としている。先進地の効果に国が期待を寄せているというところか。

答 社会性の育成、学力向上、中1ギャップの解消などの成果に大きな期待を寄せていると認識している。



小学校6年生と中学校1年生による合同授業の様子

問 5年間の導入準備を経て今春から全面実施となった三条市の小中一貫教

育。何か効果は見られるか。

問 中1の不登校発生率が低下。小学校から中学校への切れ目のない支援に小中の教職員が一緒に取り組んだ結果と考える。NRT（全国標準学力検査）で小6までは全国平均を上回っているものの中1以上は徐々に下がる傾向にあったが、下がり方の程度が小さくなっている。小中一貫教育の取り組みが徐々に反映して、やがて学力が平均を超える兆しを感じている。

子どもたちの土曜日が変わる!?

問 文部科学省内で議論されている土曜日授業の復活をどう捉えるか。

答 学校現場では、現行週5日制の中で対応できている。

